国際ロータリー第2600地区
上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

WEEKLY REPORT

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

R.I.会長　シェカール・メータ
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　桑澤 一郎

Rotary Club of Ueda

2021-22年度
上田ロータリークラブ
- 会長　米津 仁志
- 副会長　金子 良夫・湯田 勝己
- 幹事　柳澤 雄次郎
- 会報委員長　田邉 利江子

第２８３７回例会（令和３年７月12日）

ホームページQR

[会長挨拶]　米津仁志　会長

みなさん、こんにちは。このところ、夕方になると熱帯地方のような土砂降りの雨が降ることが多いですね。今日はどうなるでしょうか？早く梅雨明けに向かってほしいものです。

７月３日に発生しました熱海豪雨災害の被害者および関係者のみなさまには心よりお見舞いを申し上げます。この件につきまして、ＲＩ2620地区（静岡県、山梨県）の小林總一郎ガバナーより義捐金を募りたい、という連絡が地区宛てにあり、ＲＩ2600地区として50万円を送ることにした、というお知らせが桑澤一郎ガバナーよりまいりました。会員のみなさまにはご了承をお願いいたします。

さて、私の会長挨拶は、ロータリー情報をみなさんと共有することが第一義ではありますが、時間に余裕があるときには、P.F.ドラッカーの言葉をご紹介してまいりたいと思います。

私とドラッカーを真剣に読み始めたのは、2009年に岩崎夏海さんの小説『もし高校野球の女子マネジャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』が発表されてからです。この本は『マネジメント』を読んだ野球部の女子マネジャーがこの本の内容を元に野球部を建て直すという小説でミリオンセラーとなりました。これをきっかけに日本中にドラッカーブームが起こりました。

私はそれ以前にもドラッカーを読んだことはありましたが、文章がとっつきにくく、あまり好きになれませんでした。しかし、改めて読み始めると、そのとっつきにくい文章を逆に面白く感じるようになりました。それ以来、ドラッカーの読書会や研究会に参加し、いまでも月に一回ドラッカーについてのブログを書いております。

今日はドラッカーとはどんな人物なのかみなさんにご紹介したいと思います。

ドラッカーは「マネジメントの父」と呼ばれる経営学者、経営コンサルタントです。

ドラッカーは1909年、ウィーンで裕福なドイツ系ユダヤ人の家庭に生まれました。子供の頃には両親の紹介で、同じユダヤ人の心理学者ジークムント・フロイトに会ったことがあるそうです。ドラッカーはウィーンのギムナジウム（中高一貫校）を卒業すると、ハンブルグの貿易商で事務見習いとして働きました。もともと大学には行くつもりがなかったそうですが、やがて父の意向を汲んでフランクフルト大学に入学します。

1929年、フランクフルトの有力紙『フランクフルター・ゲネラル・アンツァイガー』の経済記者になりました。

1931年にフランクフルト大学にて法学博士号を取得。この頃、国家社会主義ドイツ労働者党（ナチ党、ナチス）のアドルフ・ヒトラーやヨーゼフ・ゲッベルスから度々インタビューが許可されたそうです。

1933年、自ら発表した論文がユダヤ人を嫌うナチ党の怒りを買うことを察知し、イギリスのロンドンに移住。ジョン・メイナード・ケインズの講義を直接受ける傍ら、イギリスの投資銀行に勤めました。1937年、同じドイツ系ユダヤ人のドリス・シュミットと結婚、1939年、アメリカ合衆国に移住し、処女作『経済人の終わり』を上梓しました。

1942年にバーモント州ベニントンのベニントン大学教授となり、翌年にはアメリカ合衆国国籍を取得しました。この頃、GMのマネジメントを１年半調査し、この成果を元に1946年に第三作『企業とは何か』を執筆し、大ベストセラーにとなります。

1950年から1971年までの約20年間、ニューヨーク大学（現在のスターン経営大学院）の教授を務めました。

1959年に初来日し、以降も度々来日しました。日本でドラッカーを信奉する経営者には、イトーヨーカドーの伊藤雅俊さん、ファーストリテイリングの柳井正さん、キッコーマンの茂木友三郎さんなど枚挙に暇がありません。ドラッカーはこのころ日本古美術のコレクションを始めました。1966年には「産業経営の近代化および日米親善への寄与」が認められ勲三等瑞宝章を受勲しました。

1971年にカリフォルニア州クレアモントのクレアモント大学院大学教授となり、以後2003年まで務めました。1979年に自伝『傍観者の時代』を著しています。

2002年、アメリカ政府から大統領自由勲章を授与されました。この勲章は文民に贈られる最高位の勲章で、現大統領のバイデン氏やビル・ゲイツ氏、ウォーレン・バフェット氏、アラン・グリーンスパン氏などの有力者が受勲されています。

2005年にクレアモントの自宅にて老衰のため95歳で逝去されました。

ドラッカーが亡くなって16年になりますが、いまだにドラッカーの言葉は生きています。言葉の一つ一つが核心をついていて、なにかの答えをもたらしてくれます。

次回から少しずつドラッカーの言葉をご紹介してまいります。よろしくお願いいたします。

［役員・理事　就任挨拶］

（1）桑原茂実　直前会長

昨年度、柳澤直前会長が退任あいさつで「会長より何も相談されなかった」と言われました。私は、米津会長より相談されるような直前会長になりたいと思います。兼務で職業分類（会員選考）副委員長、クラブ戦略計画委員長を務めますのでよろしくお願いします。

（2）矢島康夫　会長エレクト

本年度、会長エレクトという重責を本当に引き受けられるのか、能力的にも、身体的にも心配になっています。先ずは、１年間勉強をさせていただきますので、皆様方のご指導よろしくお願い申し上げます。

（3）金子良夫　副会長・第一クラブ奉仕委員長

副会長の仕事の一つに例会時にラッキー賞の抽選を行います。コロナ禍になる前、ラッキー賞は三巡していました。ワクチンが行き届き、コロナ禍前のクラブ運営に早く戻れるよう期待しています。一年間、ドラッカーを勉強しながら米津会長を補佐していく所存です。

（4）湯田勝己　副会長・第二クラブ奉仕委員長

第二クラブ奉仕委員会は、上田ロータリークラブの６つの委員会で構成されております。米津会長のテーマにもなっております「ロータリーライフを楽しもう！」というテーマのもと、楽しみながらロータリー活動を行えるように各委員会の皆様と協力して１年間頑張っていきますので、皆さんよろしくお願いいたします。

（5）柳澤雄次郎　幹事

米津年度、幹事を務めさせていただきます柳澤です。入会６年でまだ親睦活動以外のことをよく理解していない私が幹事ということで、米津会長の足を引っ張るのが目に見えておりますが、歴代の幹事、伊藤さん・小幡さん・金子さん・窪田さんが役員理事におられますので、きっと助けてくださると信じております。先週も計画会議で、会長挨拶をとばして会を始めてしまい、後で小幡さんに怒られました。叱咤激励はいつでも受付けておりますので、お気軽にお申し付けください。

温和な米津会長とは同じ横町自治会で、清明小・二中・上田高校とずっと私が２年後輩で、当時は雲の上の存在でした。地元の先輩である米津会長に恥をかかせない幹事としての役割を果たしていきたいと考えます。

しかし、本年度は、新春合同夜間例会・東信第一東信第二グループ合同ＩＭ会員セミナー・６クラブ合同ゴルフコンペと、上田ＲＣがホストクラブとなる活動があり、クラブ内では、地区補助金事業・ロータリー奉仕デー・東近江ＲＣの来訪・上田ＲＣオープン例会の他に、ホームゴルフコンペを４回、クリスマス例会及び家族親睦旅行といった親睦活動も盛りだくさんで、その上会員純増５名、その中に女性も入れなさいというお達しもうけたまわっております。

「ロータリーライフを楽しもう！」という米津会長のお言葉をふまえ、これらすべての活動を楽しみながら

進めていかなければなりません。

ガバナー補佐の北村さんおよびガバナー補佐幹事の酒井さん、役員理事･委員長の皆様、さらに委員の皆様、つまり上田ロータリークラブ全会員のご協力がなければ本年度の事業活動を楽しく運営していくのは困難です。

皆様の楽しいご協力のほど、どうかよろしくお願いいたします。

（6）小山宏幸　会計

今年度「会計」の大役を仰せつかりました小山です。会計のことは職業柄少し得意ではありますが、伝統ある上田ロータリークラブに入会させていただいてまだ１年半でロータリーの仕組みが分かっておりません。特にアルファベットの言葉の意味が分かりませんので、１年かけて勉強させていただきながら、皆様からお預かりした大切な会費の予算執行を適切に管理していきたいと思っています。１年間よろしくお願いいたします。

（7）上島孝雄　S.A.A.

例会運営が、スムーズに行われるように、米津会長の方針に従い会場委員会、プログラム委員会等各員会と連携して１年間有意義な例会になるように勤めます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

（8）林　秀樹　職業奉仕委員長

この度、伝統と格式高い上田ロータリークラブ職業奉仕委員長を拝命いたしました林です。

職業奉仕はロータリークラブの奉仕の重大な柱です。上田ロータリークラブも職場例会、職業奉仕表彰など、皆様のご協力を必要とすることがたくさんあります。

１年間ご協力よろしくお願いいたします。

（9）安齋晃徳　社会奉仕委員長

ロータリーにおける社会奉仕は地域社会に役立つ奉仕活動を目的とします。

今年度は次の活動を予定しています。

①甘露保育園、蓮の音こども園への支援事業
②ロータリー奉仕デーの実施

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

（10）伊藤典夫　国際奉仕委員長

世界に目を向ける国際奉仕委員会の主な役務は、ロータリー財団委員会と米山奨学委員会の皆様と協力をして、会員の皆様に寄付金をお願いすることと、６月上旬にアメリカ・ヒューストンで開催される国際大会へ皆様をお誘いすることが、仕事であろうかと思っております。

皆様には何かとご協力をお願いすることになろうかと存じますが、その節にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

（11）小幡晃大　副幹事

副幹事を仰せつかりました小幡です。３年程前に幹事をやった記憶があるのですが、今一度最初から勉強しなおせという事なのだろうと思っております。

先ずは、クラブ計画書の作成という事で、既に原稿をいただいている方、ありがとうございます。なるべく早く作成出来るように努めて参ります。

その他、今年度は事業が多いと聞いておりますので、皆様からのご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

[幹事報告]　　柳澤雄次郎　幹事

１．米山奨学会より
　2021-2022年度　上期普通寄付金のお願い
２．地区事務所より
　2021-22年度テーマネクタイ及びテーマバッジ（会長へ）
　「友と歩む　地域と歩む」会員増強のために活用
　「長野日報」
　「ダメ。ゼッタイ。」募金セット
　静岡県熱海豪雨災害被害者に対する義捐金の件
　ロータリー奉仕デー、「ロータリー地球環境保全プロジェクトのご紹介
３．上田市社会福祉協議会より
　表彰者の推薦について（依頼）
４．豊かな環境づくり上小地域会議より
　令和３年豊かな環境づくり上小地域会議通常総会の書面表決結果について
　環境啓発物品の貸出しについて
　信州エコポスター・標語コンクール2021の実施について
５．定時受付　上田西ＲＣ　７月29日㈭　定受あり
　　長野北ＲＣ　７月15日㈭　定受あり
７．会報恵送　松本南ＲＣ、丸子ＲＣ、上田東ＲＣ

［ニコニコBOX］　　櫻井雅文　委員長

安齋晃徳さん　石井懋人さん　伊藤典夫さん　内河利夫さん　柄澤章司さん　北村修一さん　桑原茂実さん　小林俊明さん　小山宏幸さん　斉藤達也さん　清水一郎さん　田中健一さん　土屋勝浩さん　南部広樹さん　布施修一郎さん　増澤延男さん　増田幸一さん　丸山正一さん　矢島康夫さん　柳澤雄次郎さん　米津仁志さん　櫻井雅文さん　中村邦彦さん　滋野眞さん

本日喜投額　24名　￥ 30,000
累　計　　￥173,500

［例会の記録］

司　会：関　宇陽　委員長
斉　唱：「四季の歌～夏」
●会長挨拶
●幹事報告
●役員・理事就任挨

［ラッキー賞］

安齋晃徳さん（柳澤雄次郎さんより、とらやの羊羹）
南部広樹さん（柳澤雄次郎さんより、とらやの羊羹）

［出席報告］　　関　宇陽　委員長

	本日	前々回（6/28）
会　員　数	57	57
出席ベース	50	50
出 席 者 数	47	46
出席免除(b)（ ）内は出席者数	11(4)	11(4)

	本日	前々回（6/28）
出席免除(a)	0	0
メークアップ（ ）内は Make up 後		1(47)
出　席　率	94.00	94.00

［次回例会予定］

7月26日(月)　納涼夜間例会

（7月19日発行）

【会報担当】　土屋勝浩　副委員長

「ロータリーの友」手引書より

●『ロータリーの友』は　日本におけるロータリーの機関誌

『ロータリーの友』（以下『友』）は、国際ロータリー(RI)の認可を受け、RotaryWorldMagazinePress（『TheRotarian』とロータリー地域雑誌の総称）の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です（P２～３に掲載）。地域雑誌としての『友』は、ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結していると実感するためにも必要な媒体です。

2013年規定審議会で、ロータリー地域雑誌について、会員は印刷媒体か電子媒体のいずれかを選択して購読することができるようになりました。それを受けて、ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所では、電子版の『友』を2014年1月号から発行しています（www.rotary-no-tomo.jp）。

●『ロータリーの友』はロータリーについての情報誌

世界や日本におけるロータリーの状況や活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるような編集、より身近でより親しまれる編集を心がけています。ロータリアン以外の方にお読みいただいてもロータリーのことをお分かりいただけるように編集していますが、基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。

●『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場

『友』の縦組みのページにはロータリアンとしての意見や経験談、職業上の知識などを掲載して、ロータリアン同士が議論し、交流を図る「広場という空間」を提供します。この広場にはたくさんのロータリアンがやってきて話し合い、旧交を温め、新しい出会いを喜ぶ……

そんなロータリアンたちが行き交うことのできる『友』をイメージしています。